



上場会社名 株式会社 デサント 上場取引所 東
 コード番号 8114 URL <http://www.descente.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小関 秀一
 問合せ先責任者 (役職名) 専務執行役員 (氏名) 土橋 晃 (TEL) 03-5979-6110
 四半期報告書提出予定日 2023年11月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	59,985	4.9	4,151	△15.2	8,007	18.8	5,672	10.5
2023年3月期第2四半期	57,210	14.6	4,895	80.4	6,740	68.3	5,132	106.3

(注) 包括利益2024年3月期第2四半期 9,378百万円(△15.2%) 2023年3月期第2四半期 11,065百万円(134.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	75.11	—
2023年3月期第2四半期	68.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	137,172	106,788	77.3
2023年3月期	133,562	100,300	74.6

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 106,093百万円 2023年3月期 99,637百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2024年3月期	—	0.00			
2024年3月期(予想)			—	44.00	44.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	127,000	5.3	8,500	9.1	13,000	11.4	11,000	4.3
								円 銭
								145.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料の10ページ、「(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	76,924,176株	2023年3月期	76,924,176株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	1,388,446株	2023年3月期	1,420,092株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	75,517,643株	2023年3月期2Q	75,490,118株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】4ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等)	11
3. 補足情報	12
海外売上高	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間は、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益において、第1四半期連結累計期間から引き続き過去最高益となりました。

日本では重点戦略の一つであるDTC事業の強化に注力しており、特に直営店舗において売上が好調に推移しました。中国ではLE COQ SPORTIF (NINGBO) CO., LTD. (以下、NLCS) を前第4四半期連結会計期間より連結業績に取り込んだことが前年同四半期比で増収に寄与しています。また、各セグメントのアスレチックウェアカテゴリーが伸長しており、ゴルフウェアカテゴリーは前年同四半期比で減収しているものの、当第2四半期連結累計期間における売上高は前年同四半期比4.9%増の59,985百万円となりました。

売上総利益は、上記の増収及び日本におけるDTC事業の売上高総利益率向上に伴い、前年同四半期比7.9%増の35,897百万円となりました。

販管費は、ブランディングに伴う広告宣伝費等の増加及び中国における連結子会社化の影響により、前年同四半期比11.9%増の31,745百万円となりました。

営業利益は上記の結果、前年同四半期比15.2%減の4,151百万円となりました。

経常利益はDESCENTE CHINA HOLDING LTD. (以下、DCH) 及びARENA KOREA LTD. (以下、AK) の業績伸長により持分法による投資利益が増加した結果、前年同四半期比18.8%増の8,007百万円となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、経常利益が増加した結果、特別損失としてNLCSの事業構造改善費用303百万円を計上したものの、前年同四半期比10.5%増の5,672百万円となりました。

報告セグメントの業績は次のとおりであります。なお、在外子会社の決算期は12月であり、各セグメントの業績には持分法適用関連会社の数値は含まれておりません。

(セグメント別売上高)

セグメントの名称	売上高(百万円) (前年同四半期比)	セグメント利益(百万円) (前年同四半期比)
日本	23,957 (93.3%)	2,054 (64.1%)
韓国	27,751 (98.3%)	1,740 (87.1%)
中国	7,099 (321.9%)	241 (185.3%)
調整額	1,176 (108.1%)	114 —
合計	59,985 (104.9%)	4,151 (84.8%)

※ セグメント利益は、当社グループにおける営業利益であります。

(日本)

リニューアルオープンした『デサント』の直営店舗を中心にプロパー消化が進み、売上高総利益率の上昇が着実に進んでいます。更にインバウンド需要が第1四半期連結累計期間から引き続き好調に推移した結果、DTC比率は前年同四半期比で3ポイント上昇しました。一方で、『マーモット』の2022年12月ライセンス契約終了の影響並びにゴルフウェアカテゴリー売上の前年同四半期比での減少の結果、売上高は前年同四半期比6.7%減の23,957百万円となりました。前第1四半期連結累計期間において発生した一過性利益約470百万円が無くなった影響のほか、直営店舗の改装や新たなブランドアンバサダー契約等のブランディングに伴う費用の増加もあり、セグメント利益は前年同四半期比35.9%減の2,054百万円となりました。

(韓国)

夏物商品の需要を取り込んだ結果、『デサント』『アンブロ』等のアスレチックウェアカテゴリーが好調に推移しているものの、ゴルフブームの反動によるゴルフウェアカテゴリーの低調により売上高は前年同四半期比1.7%減の27,751百万円となりました。セグメント利益は減収に加えて広告宣伝費等の販管費の増加により前年同四半期比12.9%減の1,740百万円となりました。なお、セグメント損益には含まれませんが、『アリーナ』を展開する持分法適用関連会社のAKは海外旅行者増加に伴うレジャー水着の売上が好調で、業績が伸長しました。

(中国)

主にARENA (SHANGHAI) INDUSTRIAL CO., LTD. 及びNLCSの連結子会社化による増収効果並びに香港での中国本土からの旅行者増加により、売上高は前年同四半期比221.9%増の7,099百万円となりました。セグメント利益は増収に伴い、NLCSに係るのれんの償却費等を計上したものの前年同四半期比85.3%増の241百万円となりました。なお、セグメント損益には含まれませんが、『デサント』を展開する持分法適用関連会社のDCHは引き続き好調です。

品目別売上高の状況は次のとおりであります。

(品目別売上高)

区 分	金 額	構 成 比	前年同四半期比
アスレチックウェア及びその関連商品	百万円 41,914	% 69.9	% 117.3
ゴルフウェア及びその関連商品	15,281	25.5	85.8
その他	1,611	2.7	62.8
調整額	1,176	2.0	108.1
合 計	59,985	100.0	104.9

(アスレチックウェア及びその関連商品)

日本では『デサント』の直営店舗や自社ECでの「水沢ダウン」の販売が好調のほか、「世界水泳選手権2023福岡大会」の波及効果を受けた『アリーナ』が伸長しました。韓国では『アンブロ』が若年層向けに第1四半期連結累計期間から引き続き好調に推移し、中国ではNLCSの連結子会社化が増収に寄与した結果、アスレチックウェアカテゴリーの売上高は前年同四半期比17.3%増の41,914百万円となりました。

(ゴルフウェア及びその関連商品)

日本では『ルロックスポルティフ』の独自開発のカッティングとストレッチ生地を組み合わせたウェア「ストレッチフォーサー」、韓国では『デサント』でゴルフシューズ「CONDOR」などのヒット商品が出たものの、日本と韓国におけるゴルフブームの反動の影響を受け、ゴルフウェアカテゴリーの売上高は前年同四半期比14.2%減の15,281百万円となりました。

(サステナビリティに関する取り組み)

当社はサステナビリティの一環として、課題解決につながる商品開発、リサイクル及びスポーツ普及活動に取り組んでおります。

日本において、『ルロックスポルティフ』では新作ベビーシューズ「LCS シャルル」と「LCS アルル」の販売を2023年7月から開始しました。このベビーシューズは、歩き始めた1歳前後の子どもの未発達な土踏まずを中心に足の内側をサポートする機能を搭載しています。子どもの足に寄り添ったデザイン設計が評価され、子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン部門にて第17回キッズデザイン賞を受賞しました。

また、『アリーナ』で不要になったゴーグルを回収しリサイクルする活動を2018年より継続して実施しています。この度、7月に開催された「世界水泳選手権2023福岡大会」においても会場外に開設した当社ブースにてゴーグルを回収するボックスを設置しました。このリサイクル活動は大会関連プロジェクトとしても認証されており、当大会の公式HPで紹介されました。

『ムーブスポーツ』で体験型ワークショップ「PLAY MOVESPORT」を7月に開催しました。MOVESPORT UNITメンバーによるパフォーマンスを含め、BMX、スケートボード、スポーツライミング及びダブルダッチといったアーバンスポーツを子どもから大人まで約250人が体験する機会となりました。「PLAY MOVESPORT」は今後も日本各地で開催予定です。

当社は今後もスポーツを通じた活動によって社会課題の解決に取り組んでまいります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債、純資産の状況に関する分析)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は137,172百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,609百万円増加しました。

流動資産は前連結会計年度末に比べ1,284百万円減少し、81,221百万円となりました。これは主に現金及び預金の減少4,538百万円、受取手形及び売掛金の増加1,290百万円、商品及び製品の増加1,059百万円などによるものです。

固定資産は前連結会計年度末に比べ4,893百万円増加し、55,951百万円となりました。これは主に投資その他の資産に含まれる投資有価証券の増加4,518百万円などによるものです。

負債合計は前連結会計年度末に比べ2,878百万円減少し、30,384百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金の減少1,937百万円、短期借入金の減少551百万円などによるものです。

純資産は前連結会計年度末に比べ6,488百万円増加し、106,788百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加2,652百万円、為替換算調整勘定の増加3,327百万円などによるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ、2.7ポイント増の77.3%となりました。

(キャッシュ・フローの状況に関する分析)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末に比べ9,780百万円減少し、24,964百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、237百万円の収入超過（前第2四半期連結累計期間は4,710百万円の収入超過）となりました。これは主な増加要因として、税金等調整前四半期純利益7,704百万円などがあり、主な減少要因として売上債権の増加額976百万円、仕入債務の減少額2,176百万円などがありました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、6,078百万円の支出超過（前第2四半期連結累計期間は7,338百万円の支出超過）となりました。これは主な減少要因として、定期預金の預入による減少額4,704百万円、有形固定資産の取得による減少額1,026百万円などがありました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、4,204百万円の支出超過（前第2四半期連結累計期間は3,026百万円の支出超過）となりました。これは主な減少要因として、配当金の支払による減少額3,020百万円、リース債務の返済による減少額617百万円などがありました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想につきましては、2023年5月15日の決算短信で公表しました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	41,412	36,873
受取手形及び売掛金	15,698	16,988
商品及び製品	20,657	21,717
仕掛品	387	549
原材料及び貯蔵品	536	698
その他	3,875	4,455
貸倒引当金	△62	△61
流動資産合計	82,505	81,221
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,178	9,494
その他	14,929	14,778
有形固定資産合計	24,107	24,273
無形固定資産		
のれん	3,516	3,499
その他	1,491	1,790
無形固定資産合計	5,008	5,290
投資その他の資産		
投資有価証券	18,218	22,736
退職給付に係る資産	487	323
その他	3,280	3,371
貸倒引当金	△44	△44
投資その他の資産合計	21,941	26,387
固定資産合計	51,057	55,951
資産合計	133,562	137,172
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,592	9,655
短期借入金	551	—
未払法人税等	1,428	1,244
賞与引当金	1,283	806
その他	11,088	10,811
流動負債合計	25,944	22,518
固定負債		
その他	7,318	7,866
固定負債合計	7,318	7,866
負債合計	33,262	30,384

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,846	3,846
資本剰余金	25,436	25,552
利益剰余金	62,257	64,909
自己株式	△606	△593
株主資本合計	90,933	93,715
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	609	1,006
繰延ヘッジ損益	△3	△12
為替換算調整勘定	7,397	10,725
退職給付に係る調整累計額	699	658
その他の包括利益累計額合計	8,703	12,377
非支配株主持分	662	695
純資産合計	100,300	106,788
負債純資産合計	133,562	137,172

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	57,210	59,985
売上原価	23,934	24,087
売上総利益	33,275	35,897
販売費及び一般管理費	28,380	31,745
営業利益	4,895	4,151
営業外収益		
受取利息	139	352
受取配当金	76	100
持分法による投資利益	1,560	3,404
為替差益	49	—
その他	77	172
営業外収益合計	1,902	4,030
営業外費用		
支払利息	29	63
固定資産除却損	13	51
為替差損	—	40
その他	14	18
営業外費用合計	58	174
経常利益	6,740	8,007
特別利益		
段階取得に係る差益	92	—
負ののれん発生益	35	—
特別利益合計	127	—
特別損失		
事業構造改善費用	—	303
特別損失合計	—	303
税金等調整前四半期純利益	6,867	7,704
法人税、住民税及び事業税	1,274	1,230
法人税等調整額	460	801
法人税等合計	1,734	2,031
四半期純利益	5,132	5,672
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,132	5,672

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	5,132	5,672
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5	396
繰延ヘッジ損益	63	△8
為替換算調整勘定	4,136	2,168
退職給付に係る調整額	△43	△41
持分法適用会社に対する持分相当額	1,771	1,192
その他の包括利益合計	5,932	3,706
四半期包括利益	11,065	9,378
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,065	9,345
非支配株主に係る四半期包括利益	—	32

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,867	7,704
減価償却費	2,176	1,934
のれん償却額	—	185
段階取得に係る差損益 (△は益)	△92	—
負ののれん発生益	△35	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	△3
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△445	△477
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	190	107
受取利息及び受取配当金	△215	△453
持分法による投資損益 (△は益)	△1,560	△3,404
支払利息	29	63
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,629	△976
棚卸資産の増減額 (△は増加)	1,592	△734
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,329	△2,176
その他	△821	△1,166
小計	4,726	602
利息及び配当金の受取額	660	1,064
利息の支払額	△29	△63
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△646	△1,366
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,710	237
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	△6,730	△4,704
有形固定資産の取得による支出	△324	△1,026
無形固定資産の取得による支出	△201	△479
差入保証金の差入による支出	△108	△78
差入保証金の回収による収入	245	258
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△325	—
その他	107	△49
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,338	△6,078
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△566
配当金の支払額	△1,886	△3,020
自己株式の取得による支出	△0	△0
リース債務の返済による支出	△1,139	△617
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,026	△4,204
現金及び現金同等物に係る換算差額	800	265
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,855	△9,780
現金及び現金同等物の期首残高	32,757	34,744
現金及び現金同等物の四半期末残高	27,902	24,964

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

一部の連結子会社について、税金費用は、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、当該連結子会社の法人税等は、法人税、住民税及び事業税に含めて表示しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1, 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	日本	韓国	中国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	25,686	28,229	2,205	56,121	1,088	57,210
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,666	523	22	3,212	△3,212	—
計	28,353	28,752	2,227	59,334	△2,124	57,210
セグメント利益	3,205	1,999	130	5,335	△439	4,895
その他の項目						
持分法による投資損益	—	134	1,465	1,599	△39	1,560
持分法適用会社への投資額	—	172	17,086	17,259	—	17,259

(注) 1 外部顧客への売上高の調整額は、純粋持株会社である当社で計上したものであります。

2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去、棚卸資産の未実現利益の調整額、及び各報告セグメントに配分していない当社の損益であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1, 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	日本	韓国	中国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	23,957	27,751	7,099	58,808	1,176	59,985
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,674	441	259	3,376	△3,376	—
計	26,632	28,192	7,358	62,184	△2,199	59,985
セグメント利益	2,054	1,740	241	4,037	114	4,151
その他の項目						
持分法による投資損益	—	233	3,171	3,404	—	3,404
持分法適用会社への投資額	—	554	19,772	20,326	—	20,326

(注) 1 外部顧客への売上高の調整額は、純粋持株会社である当社で計上したものであります。

2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去、棚卸資産の未実現利益の調整額、及び各報告セグメントに配分していない当社の損益であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

海外売上高

前第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

(単位：百万円、%)

	韓国	中国	その他	計
I 海外売上高	26,969	5,044	1,264	33,278
II 連結売上高				57,210
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合	47.1	8.8	2.2	58.2

当第2四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）

(単位：百万円、%)

	韓国	中国	その他	計
I 海外売上高	27,087	9,822	1,795	38,704
II 連結売上高				59,985
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合	45.2	16.4	3.0	64.5

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。